



2019-2020

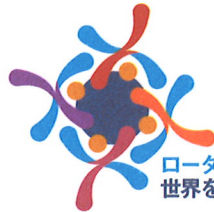
KAWANOE WEEKLY

R. 1. 7.30

No.5



「ザルトツブルクにて」 油彩 谷 晶子



2019-2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

- 会 長 坂 宗 尚
- 幹 事 石 村 浩
- 会報委員長 寺 尾 浩 一
- 例 会 日 毎週火曜日
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所
電 話 58-3530
F A X 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所
電 話 58-3530

新しい組織に向けての一考察

佐々木 信 幸

1. 組織とは

組織とは、独力で実現しないようなハイレベルな目的を達成しようとするとき、生み出される協働する媒体のことをいいます。この「組織」に注目してみると、時代に合わせ大きく変化してきていることがわかります。人類は20万年前にホモ・サピエンス誕生以来、いろいろな面で進化をはじめ、その発達段階において社会、経済、権力構造、宗教の役割などあらゆるものが変化してきました。それと同時に人々の協力体制も変化し、小さな血縁関係から新たな組織モデルへと生まれ変わってきました。歴史を振り返ってみると、その時世の世界観を反映させた組織モデルがわかります。組織と呼べるものを見てみると、人類は、次表の「A. 衝動型組織」から組織の形をスタートし、生きていくために一番効率的な組織の形へと変化してきています。現在、世界の健全な企業は、大部分が「C. 達成型組織」、一部が「D. 多元型組織」の状況です。さらに、「E. 進化型組織」に移行を始めている企業もあるようです。このように、今後も様々なモデルが表れてくると考えられます。

	名称	特徴	例
↓	A. 衝動型組織	・集団をまとめるために組織トップは暴力を行使する場合あり。 ・基本的に、組織に繋ぎとめるのは恐怖感。	部族の民兵、マフィア 戦国時代の組織
	B. 順応型組織	・ピラミッド型階層構造で、各々が型にはまった役割を担う。 ・トップダウンによる指揮系統のみ。	軍隊 大半の行政機関
	C. 達成型組織	・目標は競合先との競争に勝つこと。 ・利益を獲得し、成長のみを目指す。	現代の大半の企業 (特に)多国籍企業
	D. 多元型組織	・ピラミッド型組織の中で文化と権限委譲を重視。 ・構成員のモチベーションを高める手法を持つ。	価値観、文化重視の組織 ミッション重視の企業
	E. 進化型組織	?	?

2. 「人」の変化

では、組織を作っている「人」に着目してみます。日本人の場合、それぞれの年代で典型的な人物像が浮かび上がってきます。代表的なものは日本生産性本部が毎年発表している「新入社員タイプ」です。当然、全員にあてはまるわけではないのですが、大まかな傾向が掴めていて面白いと思います。これを見るとわかりますが、決して「人」の質が悪くなっているのではなく、価値観等が変化してきているということです。下表に10年毎のタイプを抜粋してみました。

入社年度	タイプ名	特徴
H11年	液晶テレビ型	反応は早い値段が高く、色彩も不鮮明。ただし、改良次第では可能性大。
H12年	タイヤチェーン型	装着は大変だが、装着の具合次第で安全であり、駆動力は良好。
H11年	形状安定シャツ型	防縮性、耐摩耗性の生地(新しいタイプ)が多く、丸洗い(厳しい研修、指導)OK。ただし、型崩れ防止アイロン(注意・指示)が必要。
H12年	栄養補助食品型	ビタミンやミネラル(語学力やPC活用能力)を豊富に含み、企業の体力増強に役立ちそうだが、直射日光(叱責)に弱く、賞味期限(試用期間)内に効果(やる気)が薄れることもある。
H21年	エコバック型	環境問題にこだわりが強く、節約志向で無駄を嫌う傾向があり、折り目正しい。小さくためて便利だが、使う時には大きく広げる(育成する)必要がある。
H22年	ETC型	性急に関係を築こうとすると、直前まで「心のバー」が開かれていないので、スピードの出し過ぎに要注意。IT活用には長けているが、人との直接的な対話が無くなるのが心配。
H28年	ドローン型	技術革新(スキルアップ)によって、さまざまな場面での貢献が期待できる。内外ともに社会の転換期にあたるため、世界を広く俯瞰できるようになってほしい。なお、夜間飛行や目視外飛行は規制されており、ルールを守った運用(ワークライフバランスへの配慮)や使用者の技量(適性の見極め)も必要。
H29年	キャラクター捕獲ゲーム型	はじめは熱中して取り組むが、飽きやすい傾向(早期退職)がある。モチベーションを維持するために新しいイベント(やりがい、目標の提供)を準備して飽きさせないような注意が必要。

3. おわりに

「社会・経済の環境が激変している」、「それに伴い人の価値観が大きく変化してきている」という現状を考えると、企業は、組織のあり方を見直すべきだと思います。既にある組織は、これまでの環境や人の価値観であればメリットがありました。だからこそ存続してきたと言えます。その環境が激変しているのならば、組織のあり方も変化しなくてはなりません。その変化の方法やプロセスは、各組織、目指す方向性で違ってくるのは当然だと思います。ただ、基礎となるのは、メンバー間での「未来予想図の共感」であることは間違いないのではないのでしょうか。それぞれの組織が「思い」を持って進化していきましょう。そこには新しいタイプの組織形態が待っているのです。

第2811回 例会記録 R. 1. 7. 23

出席報告

1. 出席会員 (52名中) 40名
2. 当日出席率 76.92%
3. 前々回補足修正率 96.15%
(メイクアップ会員)
 - ・6/28 石川 豊和 会員 (伊予三島RC)
 - ・6/28 田辺 龍夫 会員 (伊予三島RC)

結婚記念祝 (7月)

- ・久保 安正 会員 (31周年)
- ・内藤 丈典 会員 (12周年)

会長の時間

- ・ご挨拶 大西 宣弘 会員
- ・18-19年度地区米山記念奨学委員長
感謝状贈呈 石村 浩 会員

委員長の時間

- ・家族旅行のご案内
親睦活動委員長 石川 隆文 会員
- ・「友」7月号 要点紹介
雑誌委員長 三木 秀二 会員
- ・出席報告 出席委員長 石村 榮一 会員

会務報告

1. ザ・ロータリアン 2019年8月号
2. 2019年7・8月 近隣クラブ例会のお知らせ (出席委員会)

ニコニコニュース

石村浩…恵みの雨でようやくダムの水も回復いたしました。今週末は紙まつり。この日だけは晴れるといいですね。ただ私は世界米山学友総会でモンゴルに行ってお参ります。米山奨学生として日本で学んだあと母国モンゴルで日本式の高校を作り親日の人たちを多く送り出したり、昨年の水害で被害にあった大洲地域に義援金を持参するなど、米山奨学の夢が確実に結実している地域です。

石原…本日早退します。長期戦略の発表はお願いしています。じっくり聞いて下さい。

大西宣…先日の母の葬儀には多くの皆様のご参列ありがとうございました。

山川…中国桂林に行ってお参りました。増水で2週間余り川下りの船が運行されていなかったのですが、私が行った日から、船が動き出しました。

三谷…明日より梅雨明けです。皆様、明日より暑中御見舞い申し上げます。先週の本、松村卓著「骨ストレッチで楽に歩ける」。再読、大杉博著「ヒミコは四国徳島にいた」。本日8:30、31℃。地下20℃。

クラブ協議会 (各委員会 担当) 「活動方針発表」

近隣RCの例会日

- 8月1日(木)新居浜RC
(リーガ新居浜)
- 8月1日(木)観音寺RC
(観音寺商工会議所)
- 8月2日(金)伊予三島RC
(三島商工会館)
- 8月6日(火)観音寺東RC
(観音寺グランドホテル)
- 8月6日(火)新居浜南RC
(リーガ新居浜)

例会プログラム

- 8月6日(火)
(会員増強委員会 担当)
第57回クラブ創立記念日例会
出席表彰・誕生祝

川之江ロータリークラブ 令和1年6月個人別出席率表

氏名	例会日				出席率	ホーム クラブ 出席率	氏名	例会日				出席率	ホーム クラブ 出席率
	4	11	18	25				4	11	18	25		
安東 克正	○	×	○	○	75	75	内藤 丈典	○	○	○	○	100	100
石川 澄	○	○	○	○	100	100	長野 光正	○	△	○	○	100	75
石川 繁一	△	×	△	△	75	0	尾藤 淳一	△	○	△	○	100	50
石川 晋	○	○	○	○	100	100	藤原 康展	○	○	○	○	100	100
石川 雅二	○	○	△	○	100	75	星川 和紀	○	○	○	○	100	100
石川 隆文	○	○	○	○	100	100	星川 知之	△	○	○	○	100	75
石川 豊和	○	○	○	○	100	100	三木 秀二	○	×	△	○	75	50
石原 紘一	○	○	△	○	100	75	三谷 進一	○	○	○	○	100	100
石村 榮一	○	○	×	○	75	75	宮内 哲也	○	△	○	○	100	75
石村 浩	△	○	○	○	100	75	三宅 文雄	△	△	△	○	100	25
井上 由文	○	○	○	○	100	100	三好 重忠	○	○	△	○	100	75
宇田 正	○	△	×	○	75	50	向井 稔	○	○	○	○	100	100
宇高 光重	○	△	△	○	100	50	毛利泰治郎	○	○	○	○	100	100
宇高 尊己	○	○	×	○	75	75	森実 秀郎	○	○	○	○	100	100
大久保宏茂	○	○	○	△	100	75	矢野 隆志	○	○	○	○	100	100
大西 聖和	○	○	○	○	100	100	山川浩一郎	○	○	○	○	100	100
大西 宣弘	△	○	○	○	100	75	山下 哲	×	○	×	○	50	50
久保 安正	×	○	△	○	75	50	横内 文行	○	○	×	○	75	75
後藤 徳彦	×	○	○	○	75	75							
近藤 敦夫	△	△	△	△	100	0							
坂 宗尚	○	○	○	○	100	100							
佐々木信幸	×	○	○	△	75	50							
佐々木敬史	○	△	○	○	100	75							
篠原 孝賢	○	○	○	○	100	100							
篠原 正能	○	○	○	○	100	100							
杉浦 兼吾	×	○	△	○	75	50							
鈴木 謙	○	○	○	○	100	100							
鈴木 宣弘	○	○	○	○	100	100							
谷 裕二	○	○	○	○	100	100							
高橋 賢司	○	○	○	○	100	100							
高島 重章	△	△	△	△	100	0							
田辺 龍夫	△	○	○	○	100	75							
寺井隆仁郎	△	○	○	○	100	75	当日平均 出席率	90. 57	94. 34	90. 57	98. 11		
寺尾 浩一	○	○	○	○	100	100	平均出席率	93.40%					
土肥 義紹	○	○	○	×	75	75							